

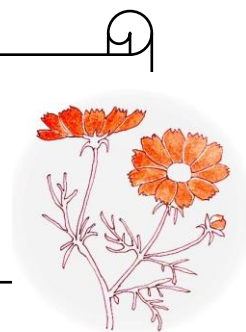


図書館ボランティアだより

第54号

令和4年10月1日

発行 阪南市図書館フレンズ広報部会



図書館フレンズ 10月の活動予定

曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
日	9/25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8				
配架	○	休館日	○	休館日	○	*月末資料整理日	○	○	○	○	休館日	○	○	○				
書庫入れ			○										○			○		
図書整備	午前												○				○	
備	午後											○						
生け花緑化										○								○
館内装飾																		
広報	○											○						○
ブックスタート																○		
おはなしでてこい																		
はじまり紙芝居	○											○						
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22				
配架	○	○	休館日	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○				
書庫入れ							○			○					○			
図書整備	午前	○					○			○					○			
備	午後	○					○			○								
印押し	午前														✕			
生け花緑化									○								○	
館内装飾																		
広報								○		○								
ブックスタート																		
おはなしでてこい									○								○	
はじまり紙芝居								○										
日	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/1	2	3	4	5				
配架	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	休館日	○				
書庫入れ			○			○				○					※			
図書整備	午前					✕			○									
備	午後					✕			○									
生け花緑化								○									○	
館内装飾			○															
広報	○																	
ブックスタート																		
おはなしでてこい																		
はじまり紙芝居	○								○									

カット 河野芳夫 * 9月30日は、休館し、資料の整理をおこないます。 ※ 11月3日は、書庫開放デーです。

図書館フレンズの活動紹介

図書整備部会（第1回）

図書整備部会は、毎週月曜日の午前午後、毎週金曜日の午前、第1第3金曜日の午後と、第3木曜日の午前中に活動しています。

8月18日（木）、図書館の作業室で数名のボランティアの方が忙しくシールを貼っていました。

除籍本にシールを貼っているところでした。それらの図書は、リサイクルブック“つながり”に渡され、市民に販売されます。

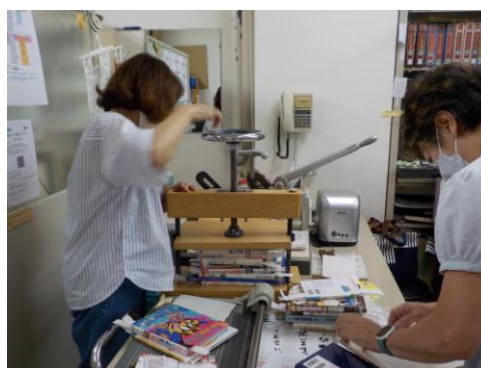
9月5日（月）の朝、図書館の作業室に行くと、図書整備部会の方が図書の修理をしていました。

はがれそうなページはボンドのようなもので直し、プレスにかけていました。

木工ボンドを水で薄めたようなものですが、特別な接着剤だそうです。

破れたり、ちぎれたりしたところは、これも特別なテープで修理していました。

ラジカセを前に、CDの音とびの確認と修理もしていました。（編集 広報部会）





私と紙芝居

はじまり はじまり ♪紙芝居部会 近藤弘子

私は紙芝居が好きです。

長年、子どもたちにおはなしを語ったり、絵本の読みきかせのボランティアをしています。その原点は子ども時代に体験した街頭紙芝居にあると思っています。

紙芝居のおっちゃんは紙芝居の舞台を自転車の荷台に積んでやってきました。拍子木を鳴らして客を集め、箱の引き出しから飴やお菓子を出して売ります。

「小さい子は前やで、小学生は真ん中、大きい子と飴を買わん子は一番うしろや」

お金のない私はいつも後ろです。

ある日、おっちゃんに代わって若い女の人がきました。クイズをしてくれて正解者には水飴をただでくれるというのです。

私は必死で一番に手を挙げ、答えて飴をもらいました。うれしくて、思い切り練って、練ってねりまくり、透明な飴を真白にしました。

紙芝居が終わって、もじもじして立っていると、

「紙芝居を見ながら飴を練ってたから、落とさないかひやひやしてたんよ。また紙芝居見にきてな」と、声をかけてくれたのです。いつもただ見で引け目を感じていたのでこの優しい言葉に泣きそうになりました「わたしもお姉さんのよ



うな紙芝居屋さんになろう」と思ったのです。

まま子いじめや子どもには怖い話など手作りの粗悪なものもあったと聞きます。でも、おっちゃんの力強い、巧みな話術やお姉さんのやさしさに私は生きる力をもらっていたように思います。

初めて紙芝居をしたのは自宅で開いている子ども文庫のおたのしみ会でした。悪い魔女がでてくる話だったと思います。私は紙芝居のおっちゃんのように声色（こわいろ）を使っておそろしい魔女になりきり、芝居をしました。いつもたんたと絵本の読み聞かせをしている私とのギャップに、子どももお母さんたちも驚いたのか紙芝居にくぎづけでした。文庫を始めたころの懐かしい思い出です。

「はじまり はじまり ♪紙芝居部会」に参加させていただき、子どもたちと紙芝居が楽しめることに感謝しています。

子どもの頃の夢「紙芝居師のお姉さん？（おばあちゃんですが）」を目指して頑張っていきたいと思っています。



リサイクルブック “つながり” 紹介

本のリサイクル委員会 委員長 森本典子

サラダホール正面入り口の左側にある，つながりスペースで，リサイクルブック “つながり” が活動しています。図書館の除籍本や寄贈本を販売し，収益を社会還元しています。

リサイクルブック “つながり” は，市民協働事業として2017年9月にスタートし，今年で5年目に入りました。

運営は市民によって結成された「本のリサイクル委員会」が担っています。

活動内容は，図書館の除籍本や寄贈本を無償で譲り受け，安価で販売しています。販売収益は，市内公立保育所，幼稚園，図書館などの施設，図書館の雑誌スポンサー費にあてられ，社会還元されています。

7月30日からコロナ禍により活動休止となりましたが，9月10日より再開，感染予防に取り組みながら頑張っています。

本に囲まれて楽しく活動しながら，来店される方々と和やかに交流！こんなリサイクルブック “つながり” に参加してみませんか？

冬休みの高校生，大学生のボランティアも大歓迎です。



場所:サラダホール1F

つながりスペース

営業日時:毎週土曜日

現在27名のボランティアが参加し，本販売の他，いくつかの作業班（店内ディスプレイ，イベント企画，WEB発信，イラスト，資料印刷，備品営繕）に分かれて，にぎやかに活動しています。



10:00～12:00

13:00～15:00